

平成28年度 第1回

山梨県考古博物館協議会資料

(次 第)

- 1 開 会
- 2 委嘱状・任命状交付
- 3 委員紹介
- 4 事務局職員等紹介
- 5 議 事
 - (1) 平成27年度 考古博物館事業実績について
 - (2) 平成28年度 考古博物館経過・予定事業について
 - (3) 考古博物館利用状況について
 - (4) その他
- 6 その他
- 7 閉 会

平成28年8月24日 (水)

山梨県立考古博物館
風土記の丘研修センター

資 料 目 次

◇ 平成27年度 考古博物館事業実績について

1	展示活動	1
2	学習会・講座など	2
3	イベント	6
4	学芸員実習・職場体験・インターンシップ	7
5	古代衣装貸し出し	8
6	ボランティアガイドの実施	8

◇ 平成28年度 考古博物館経過・予定事業について

1	展示活動	9
2	学習会・講座など	10
3	イベント	14
4	学芸員実習・職場体験・インターンシップ	16
5	古代衣装貸し出し	16
6	ボランティアガイドの実施	16

◇ 考古博物館の利用状況について

(1)	観覧者数（常設展・特別展）	17
(2)	特別展観覧者数	18
(3)	学校関係利用状況	19
(4)	総利用者数	20

◇ 山梨県考古博物館協議会委員名簿

◇ 山梨県附属機関の設置に関する条例等（抜粋）

◇ 平成27年度考古博物館事業実績について

1 展示活動

(1) 第33回特別展

テーマ：『縄文の美 ―世界に誇る JOMON 芸術―』

会 期：10月6日（火）～11月23日（月）49日間

会 場：山梨県立考古博物館

入館者：5,945人

概 要：縄文土器はその優れた造形美と多彩な文様によって、日本国内だけでなく世界でも高く評価されています。山梨県内の遺跡からも人や動物、植物などさまざまなモチーフを組み合わせた文様の土器が多数出土しており、とくに縄文時代中期の土器においてその芸術性の高さが際立っています。今回の特別展ではそうした「縄文王国山梨」が誇る優れたコレクションとともに、関東甲信越の近隣地域からも傑出した縄文芸術の名宝の数々を一堂に集め、国宝や重要文化財クラスの品々の競演の場を提供いたしました。

(2) 企画展

① 春季企画展『甲斐の SAMURAI ゆかりの遺跡―城・館・屋敷・墓―』

会 期：4月25日（土）～6月14日（日） 開催日数：51日

会 場：考古博物館多目的室

入館者：6,633人

概 要：武士が誕生した平安時代以降、山梨には多くの武士がいました。その中で、県内での武士の動きが顕著になる室町時代から江戸時代に活躍した武士に焦点をあて、遺跡から出土した考古資料を使いながら彼らの足跡を紹介いたしました。

② 夏季企画展『近代山梨の遺跡と遺物～養蚕・舟運・堤防・戦争～』

会 期：7月18日（土）～8月30日（日） 開催日数：44日

会 場：考古博物館多目的室

入館者：4,637人

概 要：平成26年には「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界遺産に登録され、さらに平成27年は「明治日本の産業革命遺産」も世界遺産に登録にされ、ここ数年、近代の産業遺産の価値が見直されています。山梨県内各地で発掘された近代の遺跡・遺物からは、今日に至るまでの山梨を支えた産業の存在と土木技術の革新を垣間見ることができます。また一方、戦争遺跡の調査からは、その土地に刻まれた当時のさまざまな記憶が鮮明になってきています。戦後70年の節目を迎えるのを期に、最も新しい時代の考古学から現代について考える機会を提供しました。

③ 第13回『わたしたちの研究室・研究成果展示会』

会 期：2月9日（火）～3月6日（日）

会 場：考古博物館多目的室

入館者：808人

概 要：県内の小・中学生のみなさんが考古学や歴史を学ぶ楽しさを知る機会と

するために、その研究成果を募集・表彰し、ご応募いただいた作品すべてを展示・公開していく事業で、平成15年度より実施しています。

④ 『富士山の日 ミニ展示』

会 期：2月13日（土）～2月28日（日）

会 場：考古博物館エントランスホール

入場者：301人

概 要：平成23年に山梨県では、富士山の豊かな自然及び美しい景観並びに富士山に関する歴史及び文化を後世に引き継ぐことを期する日として、2月23日を「富士山の日」と決めました。また、富士山は平成25年6月には世界文化遺産に登録されました。富士山の日になんで、かつて富士山信仰を支えていた道者たちがまいたとされる銭貨を使ってオリジナル拓本しおりを作りました。

⑤ 風土記の丘望見展

会 期：3月1日（火）～4月10日（日）

会 場：風土記の丘研修センター・エントランスホール

入場者：724人

概 要：「風土記の丘望見展」は、考古博物館の体験研修施設（附属施設）である「風土記の丘研修センター」で開催する企画展です。今回の展示では、かつて身近だった植物と染色をテーマに、その歴史や素材、染色方法などについて紹介しました。

⑥ 『山梨の遺跡発掘展2016』

会 期：3月12日（土）～4月10日（日）

会 場：考古博物館多目的室

共 催：山梨県埋蔵文化財センター

入場者：1,194人

概 要：埋蔵文化財センターで開催される年度ごとの発掘調査の速報展示です。

2 学習会・講座など

(1) 考古学講座

戦国時代への関心が高まる中、「甲斐國の城」というテーマで開催いたします。甲斐源氏武田氏に深いかかわりのある城や軍事施設、また軍略について講師の方にご講演いただきました。

第1回 6月6日（土） 考古学が語る「甲斐國の城」1

「武田烽火台群～獅子吼城と戦国通信網～」

講師：北杜市教育委員会 村松佳幸氏

受講者： 86人

第2回 7月4日（土） 考古学が語る「甲斐國の城」2

「谷戸城跡～甲斐源氏武田氏の祖、逸見氏の居城」

講師：北杜市教育委員会 渡邊 泰彦 氏

受講者： 72人

第3回 7月18日（土） 考古学が語る「甲斐國の城」3

「岩殿城跡～武田の支城、郡内の軍事拠点～」

講師：大月市教育委員会 稲垣 自由 氏

受講者： 85人

第4回 8月15日(土) 考古学が語る「甲斐國の城」4

「要害城跡と熊城跡～武田氏館の詰城～」

講師：甲府市教育委員会 信藤 祐仁 氏

受講者： 74人

(2) 館長講座

萩原三雄館長による「考古学研究の最前線」をテーマとする講演会。日本城郭史や日本鉱山史などを専門とする館長が最新の考古学の研究成果をわかりやすくお話する講座です。

第1回 4月11日(土) 「城の考古学3～八田家家財目録を読む～」

受講者：50人

第2回 6月13日(土) 「城の考古学4～謎の福泉寺城～」

受講者：54人

第3回 8月22日(土) 「城の考古学5～武川衆と「面々の小屋」～」

受講者：59人

第4回 10月24日(土) 「城の考古学6 山本勘助と「城取(しろどり)」

受講者：57人

第5回 12月12日(土) 「城の考古学7～烽火台と小規模城郭論～」

受講者：53人

第6回 2月27日(土) 「城の考古学8～要害城と湯村山城～」

受講者：82人

(3) 縄文王国

① 「どきどき☆カワイイさがし」デッサンコンテスト

期 間：7月18日(土)～11月30日(月)

会 場：考古博物館、県立博物館、北杜市考古資料館、韮崎市民俗資料館、南アルプス市ふるさと文化伝承館、釈迦堂遺跡博物館、ふじさんミュージアム

参加者：約500人

② 「縄文文様教室」どきどき☆カワイイさがしデッサンコンテスト関連

期 日：8月22日(土)

会 場：釈迦堂遺跡博物館

講 師：小野正文氏・秋田かな子氏

参加者：16人

③ 巡回イベント『伝承館で夏まつり2015』

期 日：8月22日(土)

会 場：南アルプス市ふるさと伝承館

参加者：273人

④ 縄文シンポジウム

期 日：10月17日(土)

会 場：岡島ローヤル会館

講 師：今村啓爾氏、萩原三雄館長、長澤宏昌氏、小野正文氏、菅沼亘氏

参加者：97人

- ⑤ 世界に誇るJOMON芸術を語る
期 日：11月7日(日)
会 場：甲府市中道支所
講 師：鼎談；小川忠博氏・石井匠氏・萩原三雄館長
参加者：90人

- ⑥ 縄文王国展
期 間：平成28年1月20日(水)～2月29日(月)
会 場：県立博物館
参加者：約500人

- ⑦ 「甲州弁むかし話」・「50年前の重郎原遺跡の記憶」
期 日：2月14日
会 場：県立博物館
講 師：藤巻愛子氏
内 容：甲州弁で聞く発掘調査むかし話
参加者：40人

(4) チャレンジ博物館

小中学生を対象に、学校の休業日である日曜日を利用し、体験学習会を開催。考古学を学ぶ楽しさとももの作り出すよろこびを経験できる企画。

チャレンジ博物館(小・中学生親子対象ものづくり教室)

- 第1回 4月19日(日)「石製耳飾りづくりにチャレンジ」
参加者：20人
- 第2回 5月17日(日)「古銭づくりにチャレンジ」
参加者：11人
- 第3回 6月14日(日)「弥生時代の矢じりづくりにチャレンジ」
参加者：16人
- 第4回 7月19日・26日・8月9日(日)
「縄文土器づくりにチャレンジ」
参加者：75人
- 第5回 8月23日(日)「縄文時代のかごづくりにチャレンジ」
参加者：19人
- 第6回 9月 6日(日)「はにわづくりにチャレンジ」
参加者：25人
- 第7回 10月18日(日)「石製耳飾りづくりにチャレンジ」
参加者：12人
- 第8回 11月15日(日)「土偶づくりにチャレンジ」
参加者：15人
- 第9回 12月 6日(日)「干支の土鈴づくりにチャレンジ」
参加者：23人
- 第10回 1月24日(日)「縄文時代のかごづくりにチャレンジ」

- 参加者： 8人
 第11回 2月14日(日) 「弥生時代の笛づくりにチャレンジ」
 参加者：12人
 第12回 3月13日(日) 「勾玉づくりにチャレンジ」
 参加者：23人

(5) ものづくり教室 ～原始古代の技に学ぶ～

高校生以上の一般を対象に、原始古代のすぐれた工芸技術を体験学習する企画。

- 第1回 4月25日(土) 「珧(けつ)状耳飾り作り体験」
 参加者： 7人
 第2回 5月10日(日) 「古銭作り体験」
 参加者： 6人
 第3回 6月27日(土) 「勾玉作り体験」
 参加者：19人
 第4回 7月12日(日)・25日(土) 「青銅器作り体験」
 参加者： 9人
 第5回 8月 8日(土)・16日(日) 「トンボ玉作り体験」
 参加者：10人
 第6回 9月12日(土)・9月27日(日) 「青銅器作り体験」
 参加者：10人
 第7回 10月17日・31日(土) 「縄文土器作り教室」
 参加者：20人
 第8回 11月 7日・11月21日(土) 「土偶作り教室」
 参加者：29人
 第9回 12月 5日(土) 「干支の土鈴作り教室」
 参加者： 6人
 第10回 1月23日(月) 「草木染め教室」
 参加者：14人
 第11回 1月30日・2月6日・20日(土) 「縄文土器作り教室」
 参加者：29人
 第12回 3月 6日(日)・12日(土) 「青銅器作り体験」
 参加者：10人

(6) 史跡文化財セミナー

一般成人を対象として、山梨県内の史跡を巡り、郷土の歴史や文化に対する興味・関心、理解を深める。

- 第64回 5月17日(日) 「白山城周辺と武田の里を歩く」
 参加者：33人
 第65回 8月 2日(日) 「富士講の参詣道を歩く」
 参加者：23人
 第66回 3月13日(日) 「谷村城下町を歩く」
 参加者：32人

3 イベント

- (1) 第27回 風土記の丘こどもまつり 参加者：33,875人
5月5日(火)・6日(水) 風土記の丘及び風土記の丘研修センター内外

勾玉作り、トンボ玉作り、火起こし体験、古代食試食、狩猟体験や古代ダンスショー、史跡ウォークラリーなど考古学や風土記の丘に親しんでいただく催しものを5月の連休期間中に毎年開催しています。

- (2) 考古博エントランスホールでのミニイベント

- 第1回 4月26日(日) 『甲冑を着て戦国武将に変身!』 参加者：24人
- 第2回 5月24日(日) 『甲府城の瓦で拓本しおりをつくろう!』 参加者：23人
- 第3回 6月14日(土) 『ギャラリートーク』春季企画展関連 参加者：12人
- 第4回 7月26日(土) 『戦争体験おはなし会』夏季企画展関連 参加者：35人
- 第5回 8月23日(土) 『竪穴住居でおはなし会&おえかき』縄文王国連携 参加者：25人
- 第6回 8月30日(日) 『ギャラリートーク(2)』 参加者：10人
- 第7回 10月25日(日) 『収穫祭』 参加者：177人
- 第8回 11月4日(日) 『竪穴住居でおはなし会&おえかき』縄文王国連携 参加者：15人
- 第9回 11月7日(土) 『古代体験フェスティバル』 参加者：120人
- 第10回 11月20日(金) 『県民の日イベント』 参加者：538人
- 第11回 1月3日(土) 『古代のもちつき』 参加者：50人
- 第12回 1月24日(日) 『風土記の丘探検隊』
雪のため中止

第13回 2月21日(日) 『富士山の銭で拓本をとろう』

参加者：23人

第14回 3月6日(日) 『春まつり』

参加者：295人

(3) 夏休みスタンプラリー

7月18日(土)～8月31日(月) 総参加者 971人
スタンプブックを持った入館者で希望者が縄文土器の拓本体験などをする夏休み企画

① 『古代の火おこしにチャレンジしよう!』

参加者：77人

② 『勾玉をつくろう!』

参加者：201人

③ 『プラバン・ストラップをつくろう!』

参加者：339人

④ 『青銅鏡をつくろう!』

参加者：23人

⑤ 『土器の拓本をつくろう!』

参加者：237人

⑥ 『ドキ土器☆お絵かきデッサンコンテスト』

参加者：94人

(4) 「夏休み自由研究プロジェクト」への参加
県立博物館の呼びかけによる事業への参加。

7月21日(月) アイメッセ山梨(甲府市)

(5) 第12回わたしたちの研究室表彰式・発表会
期日：2月8日(日)

(6) その他のイベント

11月20日(水) 県民の日イベント(埋文センター共催)

3月1日(土) 考古博物館春まつり(埋文センター共催)

(7) 原始・古代の技術体験学習(風土記の丘研修センター)

① 勾玉作り

参加者：2,777人

② 火起こし体験

参加者：5,989人

4 学芸員実習・職場体験・インターンシップ

高校・大学生等の就職先選定に先立つ職場実習であるインターンシップ、主に中学生による職場体験(12校・35名)、大学生の学芸員資格取得のための学芸員実習は8月1日～8月11日に3人を受け入れました。

学芸員実習

8月1日～11日	山梨大学	1人
	鶴見大学	1人
	駒澤大学	1人

5 古代衣装貸し出し

弥生～古墳時代の貫頭衣、古墳時代の豪族の衣服である胡服や巫女の服、古墳～奈良時代の女官や官吏の服を貸し出し、学校教育やイベントに活用しました。

5月29日(金)～6月23日(火)	狛江市立狛江第一小学校
10月8日(木)～10月27日(火)	海老名市教育委員会
10月28日(水)～10月31日(土)	菫崎市教育委員会
	合計：3件

6 ボランティアガイドの実施

考古博物館協力員に研修をうけていただき、ボランティアガイドとして来館者の展示解説を実施。総勢16名で活動。

4月	4日間(延べ4人;開館日数27日)
5月	6日間(延べ9人;開館日数27日)
6月	11日間(延べ12人;開館日数23日)
7月	13日間(延べ19人;会館日数27日)
8月	8日間(延べ12人;会館日数27日)
9月	8日間(延べ11人;会館日数24日)
10月	4日間(延べ5人;会館日数24日)
11月	7日間(延べ10人;会館日数21日)
12月以降	無し

◇ 平成28年度考古博物館経過・予定事業について

1 展示活動

(1) 第34回特別展

テーマ：『よみがえる武士の魂—鎌倉・平泉と甲斐源氏の武家文化—』

会 期：9月28日（水）～11月23日（水）

会 場：山梨県立考古博物館

概 要：甲斐源氏の目指した武家文化の源流を考古資料から読み解くことを目的とします。

甲斐源氏の祖、新羅三郎義光は、兄の源義家（源頼朝の高祖父）とともに東北の覇者藤原氏の隆盛のきっかけとなった後三年の役（1083～1087年）に参戦しました。前九年の役（1051～1062年）と合わせて、源氏が武士の棟梁としての名声を不動のものとする礎がこの戦いで築かれました。一方、奥州（平泉）藤原氏は国際色・宗教色あふれる都「平泉」を造営し栄華を誇った。また東国の支配権を固めた源頼朝は平泉の文化や生活様式を吸収し、これまでにない本格的な武家の都の造営を行っています。

展示では、甲斐源氏勃興の時代である平安時代末から鎌倉時代にかけての出土品と、武家文化が花開いた鎌倉・平泉ほか各地の出土品を比較しながら、武家文化が目指した世界を紹介します。

(2) 企画展

① 春季企画展『お肌のキレイな縄文土器～一の沢遺跡と酒呑場遺跡～』

入館者：5,890人

会 期：4月23日（土）～6月12日（日） 開催日数51日

会 場：考古博物館多目的室

概 要：昨年度開催された特別展「縄文の美～世界に誇る JOMON 芸術～」では、縄文文化を芸術作品として紹介し、好評を博しました。

山梨の縄文中期の造形美豊かな土器を生み出した背景には、豊かな自然や精神文化の奥深さがある一方で、山梨の縄文人たちがより精選された胎土を用い、丹念に磨き込んで土器製作を行っていたことがあげられます。

今回の企画展では、重要文化財として既に高い評価を得ている一の沢遺跡（笛吹市）と酒呑場遺跡（北杜市）から出土した土器について、「土肌の美しさ」という視点から紹介しました。なお、酒呑場遺跡出土品は、平成26年度から4年計画で保存修理を行っており、その成果の中間報告も兼ねて紹介する機会としました。また、会期中は小・中学生、一般を対象にイベントを開催し、入館者の増加につなげました。

② 夏季企画展「山梨のはにわ—埴輪から見た古墳時代の地域社会—」

会 期：7月16日（土）～8月28日（日） 開催日数40日

会 場：考古博物館多目的室

概 要：山梨の古墳から出土した埴輪を展示紹介しながら、古墳時代の地域社会について考える機会としています。

埴輪は、円筒埴輪（壺形・朝顔形埴輪を含む）とそれ以外の形象埴輪（家形埴輪、器財形埴輪、人物・動物埴輪）に大別されるが、「埴輪」といえば人や動物をかたどった形象埴輪がイメージされ、考古学の出土品の中でも特に人気があります。しかし、山梨は東日本の中では埴輪の少ない地域であり、形象埴輪については北関東などと比べるとさらに少ないのが現状です。

展示では、山梨の埴輪の変遷について概観したうえで、古墳そのものが当時の社会で果たした機能・役割についても考え、また、夏休み期間中の開催であることから、会期中は小・中学生を対象にクイズラリーなどのイベントを開催し、入館者の増加につなげました。

- ③ 第14回『わたしたちの研究室・研究成果展示会』
会期：平成29年2月11日（土）～3月5日（日） 開催日数23日
会場：考古博物館多目的室
- ④ 『富士山 ミニ展示』
会期：平成29年2月11日（土）～2月28日（火） 開催日数18日
会場：考古博物館エントランスホール
- ⑤ 風土記の丘望見展
会期：平成29年3月1日（水）～4月9日（日） 開催日数：40日
会場：風土記の丘研修センター・エントランスホール
概要：未定
- ⑥ 『山梨の遺跡発掘展2017』
会期：平成29年3月10日（金）～4月9日（日） 開催日数：31日
会場：考古博物館多目的室
共催：山梨県埋蔵文化財センター

2 学習会・講座など

(1) 考古学講座

律令制度のもと中央による地方支配が進められました。

奈良・平安時代の遺跡から仏教文化や文字、様々な地方の社会にも浸透していたことがあきらかとなり、山梨では近年、新たな発見もあります。最新の考古学成果をもとに、山梨の古代について考えます。

第1回 6月4日（土） 考古学が語る「古代の甲斐」1
「古代の甲斐と考古学：総論」

講師：（公財）山梨文化財研究所 平野 修 氏 受講者：86人

第2回 6月25日（土） 考古学が語る「古代の甲斐」2
「古代の木材利用」

講師：山梨県考古学協会 御山 亮 氏 受講者：72人

第3回 7月16日(土) 考古学が語る「古代の甲斐」3
「古代の道と駅」
講師：富士河口湖町教育委員会 杉本 悠樹 氏 受講者：85人

第4回 8月13日(土) 考古学が語る「古代の甲斐」4
「発掘された牧」
講師：北杜市教育委員会 佐野 隆 氏 受講者：45人

(2) 館長講座

この館長講座は「考古学研究の最前線」をテーマにした講演会です。
本講座では日本城郭史や日本鉱山史などを研究されている萩原館長が最新の考古学の研究成果をわかりやすくお話しします。

第1回 4月23日(土) 「『黒川金山遺跡』と『湯之奥金山遺跡』の発掘調査」
受講者：34人

第2回 6月18日(土) 「『丹波山金山遺跡』の発掘調査」
受講者：54人

第3回 8月20日(土) 「鉱山臼と粉成(こなし)のシステムの研究」～
受講者：34人

第4回 10月29日(土) 「製精錬の研究(灰吹法・焼金法・溶解)」

第5回 12月17日(土) 「金付着土器の発見」

第6回 2月25日(土) 「『甲州金』の成立への技術的過程」

(3) 縄文王国

① 「縄文王国巡回ゼミ」

今回の縄文王国山梨では過去の遺跡の発掘調査でわかったことや、発掘当時の裏話などを当時の調査担当者から聞く機会として、縄文王国山梨巡回ゼミ～山梨縄文語り～を開催します。

第1回 会場：南アルプス市ふるさと文化伝承館
日時：平成28年7月3日(日)
講師：保坂康夫氏
「石(モノ)が語る南アルプス市の縄文世界」 受講者：40人

第2回 会場：釈迦堂遺跡博物館
日時：平成28年7月16日(土)
講師：田代 孝氏
「釈迦堂遺跡をかく掘れり」 受講者：31人

第3回 会 場：山梨県立考古博物館
日 時：平成28年8月21日(日)
講 師：末木 健氏
「中央道建設に伴った発掘調査とその成果」 受講者：40人

第4回 会 場：韮崎市民俗資料館
日 時：平成28年9月10日(土)
講 師：山下孝司氏
「武田の里で語る縄文世界～謎多き仮面土偶の魅力に迫る～」

第5回 会 場：富士山ミュージアム
日 時：平成28年10月23日(日)
講 師：上杉 陽氏
「遺跡から紐解く富士山噴火」

第6回 会 場：山梨県立博物館
日 時：平成28年11月27日(日)
講 師：出月洋文氏
「黒駒地域に花ひらいた縄文パワーに迫る」

第7回 会 場：北杜市考古資料館
日 時：平成28年12月23日(金・祝日)
講 師：新津 健氏
「回想・金生遺跡～発掘、保存、そして整備」

② 「縄文まつり」(仮)

日 時：10月30日(土) 12:00～19:30
会 場：甲府駅北口広場

③ 「縄文夜会」

日 時：9月3日(土) 16:30～20:30
会 場：南アルプス市ふるさと文化伝承館

(4) チャレンジ博物館

小中学生を対象に、学校の休業日である日曜日を利用し、体験学習会を開催。考古学を学ぶ楽しさとももの作り出すよこびを経験できる企画です。

会 場：風土記の丘研修センター

第1回 4月17日(日) 「勾玉作りにチャレンジ」

参加者：18人

第2回 5月15日(日) 「縄文笛づくりにチャレンジ」

参加者：25人

第3回 6月12日(日) 「弥生時代の矢じりづくりにチャレンジ」

参加者：25人

第4回 7月17日・24日・8月7日(日)

「縄文土器づくりにチャレンジ」

参加者：54人

- 第5回 8月21日(日) 「縄文時代のかごづくりにチャレンジ」
- 第6回 9月4日(日) 「はにわづくりにチャレンジ」
- 第7回 10月16日(日) 「ペーパーナイフづくりにチャレンジ」
- 第8回 11月13日(日) 「土偶づくりにチャレンジ」
- 第9回 12月4日(日) 「干支の土鈴づくりにチャレンジ」
- 第10回 1月15日(日) 「トンボ玉づくりにチャレンジ」
- 第11回 2月12日(日) 「弥生時代の笛づくりにチャレンジ」
- 第12回 3月20日(日) 「耳かざりペンダントづくりにチャレンジ」

(5) ものづくり教室 ～原始古代の技に学ぶ～

高校生以上の一般を対象に、原始古代のすぐれた工芸技術を体験学習する企画。

- 第1回 4月3日(日) 「トンボ玉作り体験」
参加者：15人
- 第2回 5月21日(土) 「琥珀の勾玉作り体験」
参加者：15人
- 第3回 6月11日(土) 「土笛作り体験」
参加者：8人
- 第4回 7月10日(日) 「刀の鑿キーホルダー作り体験」
参加者：22人
- 第5回 8月6日(土) 「トンボ玉作り教室」
参加者：10人
- 第6回 8月20日(土) 「親子でトンボ玉作り」
- 第7回 9月3日(土)・18日(日) 「青銅剣形ペーパーナイフ作り体験」
- 第8回 10月1日(土) 「刀の鑿キーホルダー作り体験」
- 第9回 10月29日(土)・11月19日(土) 「陶器作り教室」
- 第10回 12月3日(土) 「青銅鏡形チョコレート作り」
- 第11回 12月10日(土)・18日(日) 「青銅鏡作り体験」
- 第12回 1月14日(土)・21日(土)・2月4日(土)
「縄文土器・土偶作り教室」

第13回 2月25日(土) 「草木(紅花)染め教室」

第14回 3月19日(日) 「トンボ玉作り体験」

(6) 史跡文化財セミナー

一般成人を対象として、山梨県内の史跡を巡り、郷土の歴史や文化に対する興味・関心、理解を深めます。

第67回 5月15日(日) 「塩山下小田原上条集落を歩く」

参加者：21人

第68回 7月31日(日) 「下吉田を歩く」

参加者：23人

第69回 3月12日(日) 「本遠寺周辺を訪ねる」

3 イベント

(1) 第28回 風土記の丘こどもまつり 参加者：35,364人

5月4日(月)・5日(火) 風土記の丘及び風土記の丘研修センター内外

勾玉作り、トンボ玉作り、火起こし体験、古代食試食、狩猟体験や古代ダンスショー、史跡ウォークラリーなど考古学や風土記の丘に親しんでいただく催しものを5月の連休期間中に毎年開催しています。

(2) 考古博エントランスホールでのミニイベント

第1回 5月22日(日) 『縄文土器で拓本しおりに作ろう』

参加者：22人

第2回 6月12日(日) 『縄文問答「なるほど考古博(1)」
「縄文人とイノシシの話」

講師：新津 健氏

参加者：43人

第3回 7月16日(火)～8月28日(日)
『夏休みイベントクイズラリー』

第4回 7月24日(日) 『縄文問答「なるほど考古博(2)」
「有孔罎付土器の話」

講師：氏長澤宏昌氏

参加者：28人

第5回 10月9日(日) 『秋のふれあいまつり』

第6回 11月6日(日) 『竪穴住居でおはなし会』

第7回 11月20日(日) 『県民の日・戦国まつり』

第8回 12月4日(日) 『縄文問答「なるほど考古博(3)」』
「縄文土器文様の話」
講師：今福利恵氏

第9回 1月9日(月・祝) 『古代のもちつき』

第10回 1月22日(日) 『風土記の丘探検隊』

第12回 3月5日(日) 『考古博物館 de 春まつり』

(3) 夏休みスタンプラリー

7月16日(土)～9月5日(月)

スタンプブックを持った入館者で希望者が縄文土器の拓本体験などをする夏休みの企画です。

- ① 『とんぼ玉をつくろう!』
- ② 『勾玉をつくろう!』
- ③ 『プラバン・ストラップをつくろう!』
- ④ 『青銅鏡をつくろう!』
- ⑤ 『キーホルダー&マグネットをつくろう!』
- ⑥ 『ペーパークラフトをつくろう!』

(4) 「夏休み自由研究プロジェクト」への参加

県立博物館の呼びかけによる事業への参加。

7月18日(月) アイメッセ山梨(甲府市)

参加者：82人

(5) 特別展関連イベント

シンポジウム 鎌倉・平泉と甲斐源氏の武家文化を語る

11月13日(日) 岡島ローヤル会館

五味文彦氏、八重樫忠郎氏、永田史子氏、関間俊明氏、西川広平氏

(6) 第14回わたしたちの研究室表彰式・発表会

2月5日(日)

(7) その他のイベント

① 6月1日(水)～8月9日(火) 七夕飾り

② 6月26日(日)～ 山梨の七夕人形をつくろう

③ 11月23日(水・祝日) 落ち葉で焼きいも

④ 2月19日(日) 「富士山の日」関連イベント

(8) 原始・古代の技術体験学習(風土記の丘研修センター事業; 常時対応)

(6月末現在)

① 勾玉作り

参加者：1,745人

② 火起こし体験

参加者：3,285人

4 学芸員実習・職場体験・インターンシップ

高校・大学生等の就職先選定に先立つ職場実習であるインターンシップ、主に中学生による職場体験（8月15日現在8人）、大学生の学芸員資格取得のための学芸員実習（8月1日～8月12日に1名）を受け入れた。

学芸員実習

8月1日～12日 帝京大学 1人

5 古代衣装貸し出し

弥生～古墳時代の貫頭衣、古墳時代の豪族の衣服である胡服や巫女の服、古墳～奈良時代の女官や官吏の服を貸し出し、学校教育やイベントでの活用を進めています。

4月27日（水）～ 5月20日（金） 忍野小学校

合計：1件

6 ボランティアガイドの実施

考古博物館協力員に研修をうけていただき、ボランティアガイドとして来館者の展示解説を実施。総勢16名で活動。

4月 2日間（延べ 2名；開館日数27日）

5月 15日間（延べ 19名；開館日数27日）

6月 5日間（延べ 8名；開館日数23日）

7月 10日間（延べ 12名；開館日数23日）

◇ 考古博物館利用状況について

次の4項目については、次ページ以降をご覧ください。

- (1) 総入館者数
- (2) 特別展入館者数
- (3) 学校関係利用状況
- (4) 考古博物館総利用者数

考古博物館観覧者数 (常設展・特別展)

平成28年7月末日現在 (単位:人)

年度	開催日数	常設展										特別展	合計 (常設・特別)	累計		
		個人		団体		割引(初・高)		割引(小・大)		割引(小・大)					特別展	
大学・一般	小・中・高	大学・一般	小・中・高	大学・一般	小・中・高	大学・一般	小・中・高	大学・一般	小・中・高	大学・一般	小・中・高	特別展	合計 (常設・特別)	累計		
57	115	12,017	3,412	6,885	538							4,130	3,705	30,687	30,687	
58	295	16,957	6,423	10,948	1,742							8,744	3,981	48,795	87,877	
59	298	14,282	4,968	6,329	3,276							9,327	2,540	40,722	133,838	
60	298	12,679	4,431	5,209	3,116							7,533	2,660	35,928	173,481	
61	302	14,667	4,154	4,370	3,651							7,471	3,793	38,106	221,601	
62	298	16,066	4,588	4,760	1,951							8,957	2,558	38,880	263,998	
63	296	15,822	4,522	3,014	4,667							7,613	3,916	39,554	308,675	
1	299	16,349	4,813	5,059	6,332							7,147	2,982	42,682	356,982	
2	301	17,777	5,123	4,691	6,700							10,504	2,807	47,602	411,181	
3	300	15,775	4,422	4,538	7,541							8,975	3,684	44,935	461,905	
4	296	14,329	3,788	4,215	8,046							6,807	3,610	40,795	508,874	
5	289	13,272	3,865	3,636	8,211							8,164	3,492	40,640	554,105	
6	294	11,759	3,153	1,764	7,216						48	7,388	3,708	35,036	595,427	
7	291	12,519	2,749	1,548	5,076						11,230	4,422	6,845	3,573	47,962	733,471
8	283	9,079	2,055	1,426	6,089						3,455	1,028	4,908	2,910	30,950	782,904
9	291	7,470	1,795	1,073	5,594						2,633	443	4,125	2,442	25,575	813,674
10	290	7,057	1,566	556	5,410						3,596	446	4,166	2,283	25,080	851,919
11	288	6,283	1,705	521	4,208						2,339	332	4,409	1,839	21,636	880,367
12	288	5,616	1,459	797	2,958						3,201	267	3,919	1,877	20,094	909,688
13	292	5,717	1,560	800	2,271						2,517	250	3,683	1,191	17,989	933,712
14	289	5,423	1,398	396	2,598						2,887	569	3,397	1,428	17,879	957,964
15	290	4,444	1,312	479	2,379						2,397	331	3,519	1,202	16,602	982,693
16	298	4,377	1,141	557	1,822						2,887	331	3,519	1,202	16,602	1,003,103
17	296	4,432	1,105	307	2,874						3,265	440	3,093	1,039	16,555	1,024,812
18	300	4,876	1,222	326	3,543						35	2,844	3,145	1,863	18,428	1,047,853
19	301	17,512	7,004	346	3,482					5	11,546	3,139	4,747	2,070	50,887	1,149,981
20	298	4,548	2,187	229	4,276						608	2,944	3,919	2,268	22,493	1,179,023
21	290	4,537	2,524	212	3,854						261	2,944	3,553	2,429	21,847	1,205,938
22	300	3,858	1,958	305	4,128						271	3,049	3,798	2,433	20,570	1,230,837
23	301	3,768	2,073	202	5,167						270	2,562	3,798	2,433	20,570	1,251,269
24	296	4,360	6,884	85	5,056						254	2,948	4,008	3,022	23,659	1,390,490
25	293	3,833	3,798	186	4,168						825	2,177	3,689	3,055	64,356	1,420,160
26	268	4,333	8,247	131							260	3,019	3,930	2,560	23,125	1,448,404
27	297	4,669	8,202	51							246	3,889	3,653	3,014	24,722	1,479,071
28	106	1,420	3,480	21							49	1,338	2,130	1,259	9,719	1,488,790
計	9,927	321,882	123,086	75,972	137,940	23,309	1,067	136	535	3,553	98,897	17,297	188,157	91,132	1,082,763	1,488,790

特別展観覧者数

平成28年7月末日現在 (単位:人)

年度	開館日数	個人			団体			割引制度(特等・普通等)	前売券	旅行会社クーポン	年間バスポート	高齢者身障者	土曜日(小・中・高)	教育課程	招待者	計	1日平均	内容
		大学・一般	小・中・高	723	大学・一般	小・中・高	215											
58	46	2,807	723	1,405	215								1,800	1,445	8,395	183	1 土偶	
59	35	1,840	308	926	26								1,194	945	5,239	150	2 縄文時代の酒造具	
60	37	1,362	161	832	36								785	839	4,015	109	3 山梨の中世陶磁	
61	56	3,232	520	1,065	8								2,585	2,604	10,014	179	4 古代甲斐国と畿内王権	
62	29	1,461	274	317	28								571	866	3,517	121	5 古代宮道と甲斐の文化	
63	28	1,924	242	359	24								1,008	1,566	5,123	183	6 古代の装身具	
1	31	1,098	264	616	316								2,522	809	5,625	181	7 一粒の糲展	
2	36	1,503	242	448	81								3,549	774	6,597	183	8 古墳時代が聞こえる	
3	36	1,100	199	350	3								3,318	819	5,789	161	9 縄文土器その心象世界	
4	36	2,263	344	414	115								1,903	1,135	6,174	172	10 天下人の時代	
5	35	840	101	231									2,446	973	4,591	131	11 山梨の経塚	
6	36	2,414	534	96									1,947	1,295	6,286	175	12 古墳時代の甲冑	
7	44	55,623	9,554	1,943	576						10,045	3,765	4,273	4,303	90,082	2,047	13 黄金の都シカガキ発掘展	
8	32	7,999	1,432	259	219						982	608	2,140	420	14,059	439	- ノアゾンテタル人の復活展	
9	19	1,268	178	92							583	125		2,178	4,424	233	14 新発見考古学展	
10	44	5,173	883	151	458						587	62	737	1,770	5,195	157	15 韓国・忠清北道の古代文化展	
11	39	1,985	394	166	457						1,711	208	1,948	2,633	13,165	299	16 遙かなるエジプト展	
12	39	2,842	383	179	173						611	87	1,634	1,478	6,812	175	17 縄文の旅	
13	44	1,555	309	205	205						1,548	94	1,126	2,882	9,227	237	18 中国四川省古代文物展	
14	38	1,884	449	274	89						721	92	1,913	1,035	6,035	137	19 黄金の輝き	
15	38	1,965	133	126							737	142	1,423	1,375	6,373	168	20 技と美の誕生	
16	46	1,052	116	285	14						1,257	145	2,227	2,274	8,127	214	21 大トルコ展	
17	58	942	167	206	234						615	81	1,745	1,156	5,064	110	22 縄文の女神展	
18	51	993	191	115	42						828	109	1,805	863	5,154	89	23 山の民と海の民	
19	52	12,958	2,908	498	355						802	83	1,546	812	4,613	90	24 甲府盆地から見たヤマト	
20	55	647	428	164	592						9,468	2,507	2,035	729	51,241	985	25 世界遺産ナスカ展	
21	51	605	420	39	351						126	874	1,628	905	6,549	119	26 埋められた財宝	
22	51	453	236	40	390						116	667	748	1,128	5,068	99	27 卑弥呼時代の黄金世界	
23	50	810	338	92	1,124						112	652	961	751	4,329	85	28 発掘された女性の系譜	
24	50	12,437	4,782	193	999						605	18,095	1,089	1,154	64,773	135	29 縄文土器名宝展	
25	55	563	1,504	104	674						85	708	1,474	2,404	64,865	1,297	30 インカ帝國展	
26	44	672	1,172	23							90	586	973	1,103	6,545	119	31 食いしんぼうの縄文人	
27	45	927	1,039	83							102	805	923	1,110	5,017	114	32 掘り起こされた言の形	
28															5,945	132	33 縄文の美	
																34	34 よみがえる武士の魂	

学校関係利用状況

平成28年7月末現在 (単位:校、人)

年度	県内										県外										合計		
	小学校			中学校			高校			計		小学校			中学校			高校					計
	校数	人数		校数	人数		校数	人数		校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数
6	89	6,306	11	763	4	319	104	7,388	69	5,537	7	759	11	714	87	7,010	191	14,398					
7	93	5,814	15	683	7	348	115	6,845	53	3,999	12	1,077	2	173	67	5,249	182	12,094					
8	67	4,353	12	515	2	40	81	4,908	62	4,384	12	1,062	2	122	76	5,568	157	10,476					
9	53	3,437	10	474	5	214	68	4,125	67	4,524	12	1,118	1	56	80	5,698	148	9,823					
10	61	3,723	9	397	1	46	71	4,166	46	3,213	12	1,316	4	855	62	5,384	133	9,550					
11	60	3,723	11	577	4	109	75	4,409	45	3,109	9	907	1	120	55	4,136	130	8,545					
12	57	2,987	15	659	9	273	81	3,919	38	2,387	5	465			43	2,852	124	6,771					
13	58	3,059	19	285	3	339	80	3,683	26	1,681	7	540			33	2,221	113	5,904					
14	52	2,781	15	457	5	159	72	3,397	33	1,934	7	628			40	2,562	112	5,959					
15	68	3,143	8	234	3	88	79	3,465	31	1,678	8	635	1	81	40	2,394	119	5,859					
16	56	2,980	13	323	4	216	73	3,519	25	1,551	2	140	1	29	28	1,720	101	5,239					
17	51	2,797	15	275	1	21	67	3,093	32	2,325	5	345	2	69	39	2,739	106	5,832					
18	54	2,976	9	162	1	7	64	3,145	37	2,818	10	595			47	3,413	111	6,558					
19	80	3,704	22	937	6	106	108	4,747	44	3,149	5	474			49	3,623	157	8,370					
20	66	3,341	12	402	1	176	79	3,919	46	3,335	12	898			58	4,233	137	8,152					
21	65	2,950	16	539	5	64	86	3,553	42	2,947	11	919	1	45	54	3,911	140	7,464					
22	58	3,075	12	568	6	155	76	3,798	48	3,270	12	1,073			60	4,343	136	8,141					
23	63	3,315	13	467	6	226	82	4,008	64	4,694	8	922			72	5,616	154	9,624					
24	60	2,985	12	532	6	182	78	3,699	58	4,029	12	1,008	1	72	71	5,109	149	8,808					
25	57	2,705	19	545	1	36	77	3,286	56	3,579	11	901			67	4,480	144	7,766					
26	65	2,989	17	747	4	194	86	3,930	53	3,654	9	840			62	4,494	148	8,424					
27	62	3,026	14	361	5	266	81	3,653	58	4,231	11	804	1	29	70	5,064	151	8,717					
28	34	1,327	15	725	1	78	50	2,130	36	2,286	7	525			43	2,811	93	4,941					
計	1,606	90,249	329	13,473	93	4,034	2,028	107,756	1,204	85,599	238	21,120	50	3,481	1,492	110,200	3,520	217,956					

(参考) H27年7月末現在

27	32	1,304	13	337	2	162	47	1,803	46	3,372	9	705	1	29	56	4,106	103	5,909
----	----	-------	----	-----	---	-----	----	-------	----	-------	---	-----	---	----	----	-------	-----	-------

考古博物館 総利用者数

平成28年7月末日現在 (単位:人)

項 目	25年度	26年度	27年度	28年度	増減		事業内容
					対H27 7月末日比	H25~27平均 7月末日比	
常設展 観覧者数	23,125	23,227	24,722	9,719	△ 14.9%	△ 8.6%	
特別展 観覧者数	6,545	5,017	5,945				
企画展 観覧者数	22,873	14,075	13,076	7,194	△ 11.5%	△ 31.7%	春季・夏季・(冬期)企画展、わたしたちの研究室(展示)、富士山の日ミニ展示、山の遺跡展等
主催事業 参加者数	20,956	22,676	18,132	8,226	△ 8.7%	△ 9.1%	
講座等	418	676	760	342			史跡文化財セミナー、考古学講座、館長講座、特別展事前講座・記念講演会等
ものづくり教室	443	448	464	182			原始古代の技に学ぶ、チャレンジ博物館
体験学習	8,586	8,747	8,777	5,643			勾玉づくり、火起こし、その他(土鈴、縄布、青銅鏡等)
イベント等	8,619	10,898	7,132	572			考古博物館の日、夏休み自由研究プロジェクト(アイヤセ)、夏休みファミリーパスポートイベント、縄文王国関連イベント、特別展関連イベント、県民の日イベント、古代のもちつき、わたしたちの研究室表彰式・発表会、考古博春まつり 等
風土記の丘子どもまつり	2,890	1,906	999	1,487			(GW期間中2日間開催)
研修センター利用者数	2,271	1,736	2,343	865	※ 127.2%	※ 61.9%	
風土記の丘望見展観覧者数	93	119	522				
施設利用	2,178	1,617	1,821	865			講堂、研修室 【別掲】電子スコート利用者数 H25:1,935、H26:2,054、H27:1,548、H28:1,175
総利用者数	75,770	66,731	64,218	26,004	※ 5.0%	※ 12.6%	

※別掲とした電子スコート利用者数を含む増減

山梨県考古博物館協議会委員名簿

(任期 平成二十六年十月二十三日～平成二十八年十月二十二日)

区分	役職等	氏名	出身分野 (勤務先等)
委嘱	山梨県公民館連絡協議会会長	堀内邦満	社会教育関係
委嘱	山梨県市町村教育委員会 連合会副会長	大堀卓	社会教育関係 (南アールプス市教育委員会 教育長職務代理者)
委嘱	山梨県PTA協議会会長	進邦徹夫	家庭教育関係
委嘱	甲府市男女共同参画 推進委員会委員	中村京子	学識経験者
委嘱	国立大学法人山梨大学教授	大隅清陽	学識経験者
委嘱	山梨県立考古博物館協働会会長	長澤宏昌	学識経験者
委嘱	山梨県考古学協会会長	田代孝	学識経験者
委嘱	山梨郷土研究会理事	齊藤洋子	学識経験者
委嘱	NHK甲府放送局局長	飯野奈津子	学識経験者
委嘱	風土記の丘農産物加工直売組合 加工部代表	柿嶋美保子	公募
任命	山梨県公立小中学校長会	小林千澄	学校教育関係 (笛吹市立境川小学校校長)
任命	山梨県高等学校長協会	高保裕樹	学校教育関係 (県立巨摩高等学校校長)
任命	山梨県小中学校社会科研究会会長	清水芳久	学校教育関係 (甲府市立南西中学校校長)
任命	山梨県高等学校教育研究会 地理歴史公民科部会会長	武井多加志	学校教育関係 (県立白根高等学校校長)

(平成二十八年八月現在)

山梨県附属機関の設置に関する条例(抜粋)

(趣旨)

第1条 この条例は、法令又は他の条例に別に定めのあるものを除くほか、地方自治法第138条の4第3項に規定する附属機関に関し、必要な事項を定めるものとする。

(附属機関の設置及び担当事務)

第2条

2 教育委員会の附属機関として、次に掲げる機関を設置する。

(略)

山梨県立美術館協議会

山梨県考古博物館協議会

山梨県地方産業教育審議会

山梨県文学館協議会

3 第2項の規定により設置される附属機関の担任する事務は、別表第1の担当事務欄の掲げるとおりとする。

(組織)

第4条 附属機関は、別表第1、別表第2及び別表第3の委員の定数欄に掲げる数の委員で組織する。

2 委員は、別表第1、別表第2及び別表第3の委員要件欄に掲げる者のうちから、知事(教育委員会の附属機関にあっては、教育委員会。以下同じ。)が任命し、又は委嘱する。

3 委員の任期は、別表第1、別表第2及び別表第3の委員の任期欄に掲げるとおりとする。

(会長等)

第5条 附属機関に、規則で定めるところにより、会長又は委員長(以下「会長」と総称する。)及び副会長又は副委員長(以下「副会長」と総称する。)を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

3 会長は、会務を総理し、附属機関を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

5 副会長が置かれていない附属機関にあっては、会長に事故あるときは、あらかじめ会長の指名する委員が、その職務を代理する。

(会議)

第6条 附属機関の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は、規則で定める場合を除くほか、委員の2分の1以上が出席しなければ、開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、附属機関の担当事務、組織及び運営等に関し必要な事項は、規則で定める。

別表第1(第2条、第4条関係)

2 教育委員会の附属機関

附属機関	山梨県考古博物館協議会
担当事務	博物館法第20条第2項の規定による山梨県立考古博物館の運営に関する事項の調査審議及び意見の具申に関する事務
委員の定数	15人以内
委員の要件	1 学校教育の関係者 2 社会教育の関係者 3 家庭教育の向上に資する活動を行う者 4 学識経験のある者
委員の任期	2年

山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則(抜粋)

(趣旨)

第1条 この規則は、山梨県附属機関の設置に関する条例の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

(補欠委員の任期)

第3条 委員に欠員を生じた場合における補欠の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第4条 条例第5条第1項の規定により、附属機関に会長及び副会長一人を置く。

(定足数の特例)

第5条 条例第六条第二項の規則で定める場合は、次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議について、同表の定足数欄に掲げる数の委員が出席しなければ開くことができない場合とする。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
定足数	過半数

(定例会及び臨時会)

第12条 次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議は、定例会及び臨時会とし、定例会の開催回数は、同表の開催回数欄に掲げるとおりとする。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
開催回数	年2回

2 前項に規定する臨時会は、必要に応じて開催する。

(庶務)

第13条 附属機関の庶務は、次の表の所属欄に掲げる所属において処理する。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
所属	考古博物館

(委任)

第14条 この規則に定めるもののほか、附属機関の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が当該附属機関に諮って定める。

※ 参考 博物館法(抜粋)

(博物館協議会)

第20条 公立博物館に博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第21条 博物館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。

